

アメリカ合衆国

タルサ市



宇都宮市の姉妹都市として4番目に提携したのは、アメリカ合衆国のタルサ市です。1992年にタルサ市で開催された「全米姉妹都市国際会議」の席上で、25か国の関係者約1,000人が見守る中、両市の市長が提携調印書に署名して姉妹都市が誕生しました。



タルサ市と姉妹都市になるまで

1992年7月10日、
タルサ市と姉妹都市を提携しました！

タルサ市との姉妹都市提携は、旧文部省の国際交流指定校であった宇都宮北高等学校とタルサ市のブッカー・T・ワシントン高校との1984年の姉妹校が、きっかけでした。

1985(昭和60)年8月に、タルサ市長が来宇し、1990(平成2)年9月にタルサ市長から姉妹都市提携の申し入れがあり、それを受けて、1991年10月に宇都宮市長がタルサ市を視察するとともに、1991(平成3)年12月定例会市議会で、姉妹都市提携を可決、翌年1992(平成4)年7月10日に、タルサ市で開催された「全米姉妹都市国際会議」の席上で、25か国の関係者約1,000人が見守る中、両市の市長が提携調印書に署名して姉妹都市が誕生したのでした。

この間、両校に関係者の要望、尽力があり、中でも、タルサ市在住の盛岡市出身の池野のぶさんの献身的なご尽力があって実現したことを忘れてはなりません。

タルサ市のあらまし

歴史

現在、タルサ市がある地域は、1836年に、ロチャポカとクリーク族により初めて正式にインディアン特別保護区となった場所と考えられています。

彼らは、大きな榎の木の下に居住を構え、クリーク語で“古い町”を意味する“Tallasi”と名付け、それがタルサ市の名前の由来となったと伝えられています。

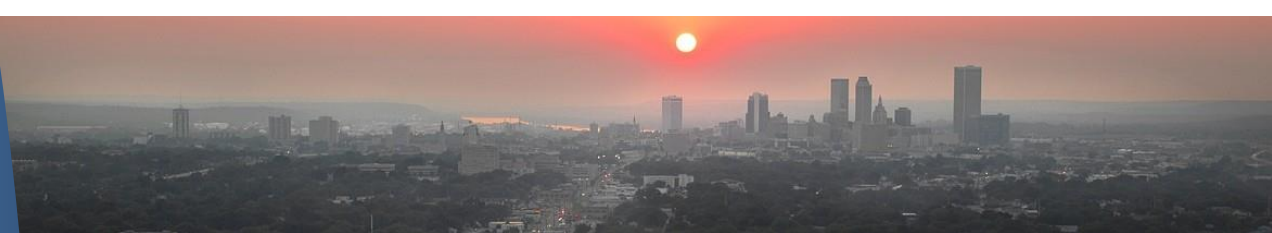
タルサ市は、その後、1900年代初頭の石油発見により目覚ましい発展を遂げました。

1920年代には、多くの大邸宅が建てられるとともに、市内には観光地や多くの公園の整備が行われ、1950年代には、“アメリカ合衆国で最も美しい都市”と呼ばれました。



タルサ市の美しい街並み

1980年代にはオイルショックがあり、これまで石油で栄えてきたタルサ市の経済は大きな打撃を受けましたが、タルサ市の人々は忍耐強く街を支え、その後、化学産業や航空関連産業などの新しい産業を次々と誘致し、都市として、大きく発展してきたのです。



夕映えのタルサ市

地理と気候

タルサ市は、アメリカ合衆国オクラホマ州にあり、州内では人口・面積ともに 2 番目に大きく、州都であるオクラホマシティの北東約 170 キロに位置しています。

大平原の中に広がる緑豊かな都市で、「四季のある街」と呼ばれ、市の中心部の高層ビルの一角に市庁舎があり、周辺はビジネスセンターとして機能し、そのまわりには住宅街やショッピングセンターが整然と広がっています。

気候は、温帯性であり、春先から晩夏にかけて、この地域特有の気候条件により雷雨が発生しやすいです。また、オクラホマ州は“竜巻街道”と呼ばれるところに位置しており、年間平均 54 個もの竜巻が発生するなど、世界最大級の竜巻発生率であり、タルサ市にも毎年多くの竜巻が発生しています。

宇都宮市も、“雷都“と呼ばれるほど、夏季には、雷が多く発生する都市として知られており、タルサ市と縁も感じるところです。



タルサ市の中心部の高層ビル



高さ 23m のゴールデン・ドリラー（石油労働者）の像

概要

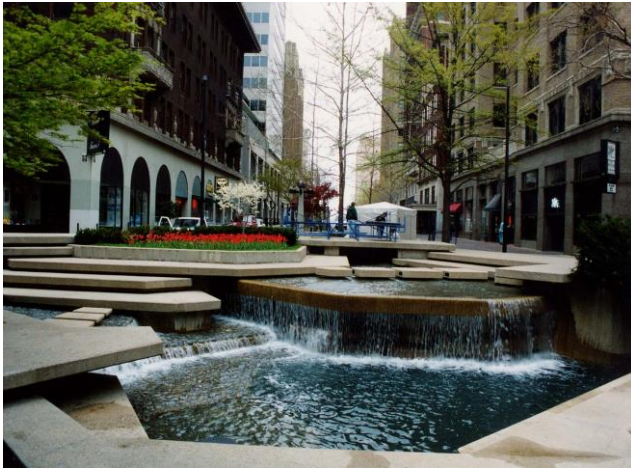
タルサ市の人口は、41 万人にのぼり、オクラホマ州で 2 番目、アメリカ合衆国で 45 番目に人口の多い都市です。

人口の 35% は、25 歳未満であり、25 歳から 64 歳未満が 52%、65 歳以上の高齢者は 13% となっています。

タルサ市には、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教など多種多様な教徒が住んでいますが、中でも特にプロテスタント教徒が多く居住し、“バイブルベルト”と呼ばれています。

市内には、オーラルロバーツ大学とタルサ大学の 2 つの高等教育機関があり、それぞれスポーツチームを持っています。

また、山や川などの多くの自然に囲まれた都市であるとともに、オクラホマ州の文化と芸術の中心地ともいわれています。



街中を流れる水路とアールデコ調の建築物

市内には、2つの美術館のほか、プロのオペラやバレエ団があるだけでなく、アメリカ合衆国内において、最もアールデコ調の建築物が集積している地域といわれています。

こうしたことから、近年のメディア調査では、タルサ市は“アメリカ合衆国内で8番目に住みよい都市”という評価を受けています。

市政

1989年に市議会がタルサ市に設置されて以降、タルサ市長には市長制度に従って多くの権限が与えられ、統合された市政運営が行われています。4年間の任期を務める市長の選出には、選挙(多数代表制)によって行われます。現在のタルサ市長は、2016年の市長選挙で勝利し、同年12月5日に就任した共和党のG.T.バイナム氏です。

市の9つの地区から市議会議員が2年ごとに選出され、その任期を務めます。市議会は市法の制定機関として法律を可決し、市の予算を承認し、効率的に管理することを目的としています。市議会と市長は市政府の活動を調整します。また、市政府の3番目の機関である市監査人は、市議会や市長とは別に選任され、2年の任期を務めます。

観光

タルサ市には、公園がたくさんあります。ウッドランドパークは美しい植物園があることで知られています。広さ120ヘクタールのターキー・マウンテン・パークでは、乗馬やマウンテンバイク用のサイクリングコースを体験できます。また、タルサ・リバー・パークスには、アーカンソー川沿いに41キロメートルのトレイルがあり、サイクリングや散歩を楽しむことができます。

ゴールデン・ドリラーは、石油労働者の像で、タルサ市を代表するモニュメントの一つです。また、ギルクリース博物館では、アメリカ先住民の作品を楽しむことができます。1920年代に建設されたフィルブルック美術館には、世界的に有名な作品の展示だけでなく、美しいイタリア風庭園もあります。ほかにも、タルサ動物園や、オクラホマ水族館、タルサ航空宇宙博物館など、子どもから大人まで楽しめる場所がたくさんあります。

タルサ豆知識

人口	約41万人 (経済圏域では約99万人)
面積	約480k m ²
位置	西経95度56分 北緯36度7分
気候	温帯性気候
気温	夏季35℃、冬季14℃ ※平均最高気温
時差	-15時間 ※夏時間は-14時間
公用語	英語
通貨	アメリカドル (1\$ = 約109円)



姉妹都市

- 1 北海(中国) 1987年
- 2 ツェレ(ドイツ) 2000年
- 3 サン・ルイス・ポトシ(メキシコ) 1980年
- 4 ティベリア(イスラエル) 1989年
- 5 セレノグラード(ロシア) 1992年
- 6 高雄(台湾) 1980年
- 7 アミアン(フランス) 2005年
- 8 宇都宮(日本) 1992年

タルサ市との交流

タルサ市との交流事業は、1992(平成4)年7月3日～13日、宇都宮市の姉妹都市提携調印団の訪問が最初でした。その後、1993(平成5)年、タルサ市から調査団が来宇、同年宇都宮市から市議会議員10名がタルサ市を訪問し、続いて、同年9月28日～10月5日まで第1回の宇都宮市市民訪問団がタルサ市を訪れ、両市の市民レベルの交流が始まりました。

1994(平成6)年2月、民間の姉妹都市との交流団体として、宇都宮市タルサ協会(会長小島延介市議会議員)が発足。翌年から、旧マヌカウ市(現・オークランド市)と同様に、市公募により中学2年生を対象とした体験学習訪問団派遣が始まりました。

以後、行政関係者・青少年・芸術文化・スポーツ関係者等による多彩な交流が、行われてきました。

中学生・青少年の派遣事業と受け入れ事業

1 1995(平成7)年 中学2年生の体験学習生の派遣の開始

タルサ市との姉妹都市交流事業は、先に姉妹都市提携をしたニュージーランドの旧マヌカウ市(現・オークランド市)と同様に、中学2年生を対象とした体験学習生の派遣が中心的な事業となっています。

例年、市の広報により公募し、応募者については面接選考と小論文により選考し、当初は30名と引率者3名の構成で1995年(平成7年)3月に、第1回派遣が開始されました。

経費の負担は、原則として受益者負担ですが、タルサ市の場合、受け入れ先となるタルサ・グローバル・アライアンス(TGA)にみなさんがホームステイ経費などを、ボランティアで負担していただき、恵まれた条件で実施されています。

これまで、9、11同時多発テロや、新型インフルエンザ(サーズ)の発生や東日本大震災の影響で中止されたこともありますが、現在も継続して実施されており中学生には人気の事業です。



空港で最後まで見送ってくれたホストファミリーたち



同世代のホストファミリーと英語で楽しく話す生徒たち



中学生派遣事業の事前研修会に参加する生徒たち

2 宇都宮市国際交流協会発足と派遣事業の受託

市が計画する中学生派遣事業をはじめとした姉妹都市交流事業は、2000年3月に発足した宇都宮市国際交流協会が市から受託事業として実施され、今日に至っています。

3 タルサ夏季国際大学への高校生の派遣

1996(平成8)7月24日～8月15日までタルサ市主催のタルサ夏季国際大学に宇都宮市内の高校生5名(引率1名)を派遣、タルサ市の姉妹都市13～16歳の青少年各都市3～5名が一堂に会し、世界の架け橋を作ることを目的にリーダーの養成や文化の違いを学ぶと共にチームワークの大切さを学ぶ事業として開催されていました。

4 タルサ市学生訪問団の受け入れ

タルサ市からの受け入れは、タルサ市から学生訪問団や、ワシントン高校の学生が来宇する等、活発な交流事業が展開されていましたが、1994(平成6)年2月25日、宇都宮市タルサ協会(会長小島延介氏)が発足してからは、以後、毎年、宇都宮市タルサ協会が受け入れを担当し、タルサ・コミュニティ・カレッジの訪問団受け入れなど独自に実施し今日に至っています。

市民訪問団の派遣と受け入れ

1 タルサ市市民訪問団の受け入れ

1991年(平成3年)1月、タルサ市長(ロジャー・ランドル氏)を団長としたタルサ市市民訪問団が来宇し、宇都宮市の姉妹都市調査委員会との交流を深めたのが最初であり、以後、毎年の如く、タルサ市議会議員やブッカー高校関係者等が来宇し、宇都宮市民との交流を深めてきました。

2 宇都宮市民訪問団の派遣

(1)1993(平成5)年9月、第1回市民訪問団(田崎義久収入役)の派遣は、タルサ市で開催された日米協会主催の「秋祭り」に参加し茶道や書道、着物の着付け等の日本文化の紹介と共に、団員はホームステイを楽しみ交流を深めた。

(2)1995(平成7)年、第2回市民訪問団(小林一右助役)派遣は、市の主催により公募、38名でタルサ・グローバル・アライアンスの受け入れで交流を深めてきた。

(3)1998(平成10)年1月、第3回市民訪問団は増山市長をはじめ、小島延介タルサ協会会長を団長に27名がタルサ市制100周年記念祝賀会へ参加し市民との交流を深めた。

ただ、この市民訪問団の派遣は、提携以来、隔年ごとに実施されていましたが、2008年(平成20年)11月、宇都宮市タルサ協会主催による第6回市民訪問団が派遣され、以後は、タルサ協会の主催により交流が続けられています。

3 タルサ・キッズ・ワールドへの派遣

1996(平成8)年、市タルサ協会会長他4名が参加し日本ブースの手伝いや折り紙披露など日本文化の紹介を行い交流を深め、以後隔年で派遣し支援を図ってきた。

4 「姉妹・文化友好都市都市サミット」への参加と市民訪問団の受け入れ

1996(平成8)年5月17～21日、宇都宮市市制100周年記念事業として開催したサミットに、タルサ市長他2名の公式訪問団とタルサ市民訪問団14名が来宇し、記念式典に参加した他ホームステイや高校訪問、日光観光などで市民との交流を深めました。

5 タルサ市で開催された姉妹都市貿易会議へ商工会代表団を派遣

1997(平成9)年6月、タルサ市市制100周年を記念し開催された姉妹都市貿易会議に市商工会議所副会頭や市収入役など産業界の代表団が参加し宇都宮の産業界の現状などのスピーチを行っています。

6 タルサ市との姉妹都市提携10周年記念再調印式と市民訪問団の受け入れ

2003(平成15)年3月、タルサ市との姉妹都市提携10周年を記念し、タルサTGA事務局長カレン・シェファー氏ほか20名が来宇し、福田富一市長と再調印書に調印し、ホームステイを楽しみながら交流を深めました。

7 姉妹都市提携20周年記念タルサ市再調印式代表団の受け入れ

2012(平成24)年10月、タルサ市TGA代表ベッキー・コリンズCEO夫妻を迎えて、宇都宮市青年会館で、「姉妹都市提携20周年記念再調印式を行うと共に、初めてタルサ市バートレット市長からビデオメッセージが届けられ、タルサ協会主催の懇親パーティーは、大いに盛り上がり、参列したタルサ市訪問団の皆さんとの交流が深められました。

芸術・文化交流

1 タルサ市国際姉妹都市青少年芸術祭への出品

1999(平成11)年6月、国際姉妹都市青少年芸術祭に宇都宮高校3年の笹島俊一君の作品が入賞、

2000(平成12)年6月、国際姉妹都市青少年芸術コンテストに作新学院の安彦沙織さんが、タルサ市の選考会で最優秀章。

2001(平成13)年10月、〃コンテストに上野亜希子さんが 〃 最優秀章を受章

2 タルサ市ギルクリース博物館展の開催

2003(平成15)年3月22～9月19日まで、宇都宮美術館で、タルサ市ギルクリース博物館の民族資料を中心に「アメリカインディアンの手仕事」展を開催し、併せて来宇したアメリカインディアン民族舞踊団による「大地の震え」が披露され、多くの観客の皆さんも感動し、盛大な拍手がおくられました。



アメリカインディアンの民族舞踊「大地の震え」



アメリカインディアン民族舞踊団とタルサ協会の皆さん

その他の派遣事業


その他の交流事業としては、1993(平成5)年10月には、「タルサ・ラン」に、マラソン選手の派遣や、雀宮ユースバンド・石井小の琴クラブなどが現地で演奏会を開催、伝統文化の紹介に努め、交流を深めた。またタルサ市生100周年を記念した姉妹都市貿易会議に商工会議所の関係者等が参加したほか、タルサ・キッズ・ワールドに日本の玩具を送付し支援に努める等、多彩な交流事業が展開されてきていました。



アメリカインディアンの民族舞踊「大地の震え」

宇都宮市の姉妹文化友好都市シリーズⅣ
アメリカ合衆国 **タルサ市**

発行日 2020年7月7日

発行者  NPO法人宇都宮市国際交流協会
宇都宮市姉妹文化友好都市パンフレット作成実行委員会
〒320-0026 宇都宮市馬場通り4-1-1
うつのみや表参道スクエア5階(宇都宮市国際交流プラザ内)
Tel 028-616-1870 Fax 028-616-1871
Email ucia@ucia.or.jp <http://www.ucia.or.jp/>

印刷 株式会社プリントバック
〒617-0003 京都府向日市森本町野田 3-1
TEL. 0120-652-125